

人材不足の現状と課題 について

北九州市産業経済局
雇用・産業人材政策課

アジェンダ

I 北九州市の雇用情勢

II 4つの課題

- 1 若者の採用や定着
- 2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)
- 3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)
- 4 DX等の生産性向上

I 北九州市の雇用情勢

I 北九州市の雇用情勢

就業人口の動向

約**40**万人(R2年国勢調査)

R2年就業人口は400,010人 5年前に比べ**▲15,082人(▲3.6%)**

※就業人口のピーク 約46万人(昭和45年国勢調査)

■特に25～44歳の減少が顕著

	(H27年度)		(R2年度)	
	163,917人	▶	136,261人	▲27,656人

■ミドル・シニア世代の労働参加が進む

	(H27年度)		(R2年度)	
(45歳～54歳)	88,833人	▶	94,294人	+5,461人

(70歳～79歳)	18,075人	▶	29,205人	+11,130人
-----------	---------	---	---------	-----------------

I 北九州市の雇用情勢

増加業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 医療福祉 +2,357人

2位 サービス業 +1,090人

3位 教育・学習支援 + 236人

減少業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 製造業 ▲3,971人

2位 卸・小売業 ▲3,719人

3位 生活関連サービス業 ▲1,661人

I 北九州市の雇用情勢

北九州地域の職業別有効求人倍率

(R7.1月)

職種間のミスマッチ

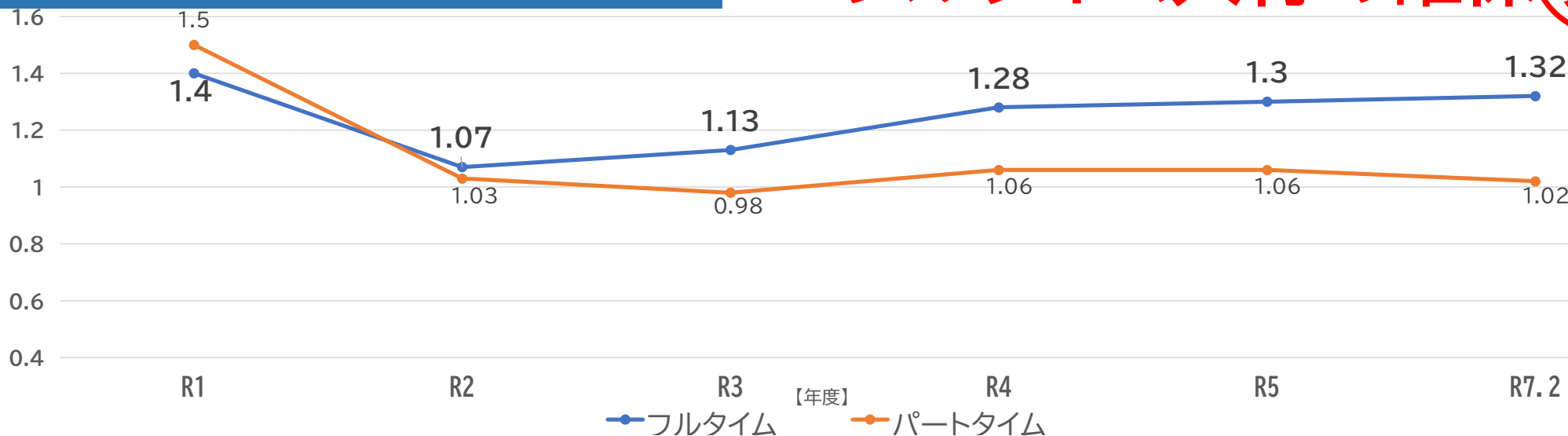
建設の職業：**5.01倍**

介護サービス：**3.71倍**

輸送・機械運転：**2.41倍**

有効求人倍率推移(R1～R6)

フルタイム人材の確保**難**



I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

北九州市の雇用者一人あたりの雇用者報酬
政令市比較（県民経済計算R2）

（千円/人）



16政令市中
第13位

I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

■ 北九州市の業種別従業者数 上位3業種（国勢調査R2）

1	医療・福祉	6万8千人（17.0%）	全体の <u>33.0%</u>
2	卸小売業	6万4千人（16.0%）	
3	製造業	5万8千人（14.5%）	

■ 北九州市の業種別所得分布（R4 民間給与実態統計調査）

～年収**500万円以上**の従事者数～

✓ 全産業の平均値	22%
✓ 電気・ガス・熱供給・水道業	42%
✓ 製造業	33%
✓ 情報通信業	31%
✓ 医療・福祉、卸小売業	15～16%

他業種と比べ所得が低位

Ⅱ 4つの課題

1 若者の採用や定着

2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)

3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)

4 DX等の生産性向上

Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(課題)

副業人材の受入率

(事業所数n=675)

(出所:R6年度北九州市雇用動向調査)

北九州市: **26.8%** (全国平均:37.7%)※

社内人材の副業解禁率

(事業所数n=675)

北九州市: **35.0%** (全国平均:70.6%)※

(※一般社団法人 日本経済団体連合会 2022年副業・兼業に関するアンケート調査結果)

スポットワークの活用(スキマバイト)

スポットワークサービス導入事業所 : **6.5%** (全国平均:2.6%)

(約2,500事業所/40,000事業所)

スポットワークサービス活用者数 : **6.4%** (全国平均:13.2%)

(約25,700人/40万人)

仮説

外部人材などの活用や人材の流動化が進んでいないのではないか？

Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(課題)

介護問題を抱えている従業員の把握

『把握していない』 : **15.9%**

※ 参考 育児休業の取得対象従業員の把握
・『分からない』 : 1.9%

テレワーク導入状況

(R4年度) 22.9% ▶ (R5年度) **21.6%**(▲1.3pt)

仮 説

働きやすい環境整備を進めることが必要なのでは？

(出所: R6年度北九州市雇用動向調査)

Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(これまでの取り組み)

■ みらいワークス社との包括連携協定

～リスキリング・イノベーションプロジェクト～

- 1 実践型リスキリングに関すること
- 2 副業、パラレルワークの普及促進に関すること
- 3 市内企業と首都圏等人材との交流に関すること
- 4 新たな拠点開設に関すること
- 5 その他、リスキリングと副業に関すること



Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(これまでの取り組み)

副業人材マッチング支援

経営課題の解決のため、

外部の副業人材とマッチング

副業解禁の気運醸成を図るためのマインドセット
セミナー等の開催(R6年度開始事業)

**R6年度
実績**

セミナー・個別コンサル	57社
マッチング件数	32件

Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(これまでの取り組み)

リクルート社と連携 中小企業の採用力向上を支援

■支援内容

- ✓ リクルート社と共同で、採用成功ノウハウセミナーを開催
- ✓ 女性やシニアが仕事探しで重視する短時間業務やシフトの切り出し
- ✓ 検索エンジンと連動した自社の採用専用ホームページを開設
- ✓ 働きたいと思ってもらえる求人情報の発信

■実績（令和7年3月末時点）

➤ セミナー参加企業数	185社
➤ 自社専用ホームページ開設数	141社
➤ 求人応募獲得数	536人



Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(トピック)

スポットワーク人材確保補助金(R7.5~)

人材不足を補う新戦略！
補助金でスポットワークを賢く活用

手数料の一部を最大 **30万円** 補助

補助率 **1/2** 目標 **60社**

スポットワーク協会と共催(R7.4)し、
活用事例などのご紹介や個別コンサルティングを実施
15社(医療福祉、運輸、不動産、製造) 22人が参加



Ⅱ 4つの課題

3 多様な働き方(トピック)

人的資本経営セミナー(R7.6～)

多様な人材の確保や定着につなげるため、**副業人材の活用**や
従業員の**介護との両立**などの多様な働き方を支援

【概要】

- 開催時期:令和7年6月～令和8年3月
- 実施内容:**人的資本経営**に係るセミナーの実施
 - ア 主婦・シニア層の活躍(4回実施:7月、10月、11月、2月)
 - イ 人事戦略に着目した人的資本経営(毎回実施)
 - ウ 助成金等の支援制度紹介(毎回開催)
 - エ テーマ講演(毎回開催)
 - (i) **仕事と介護の両立支援**(2回実施:9月、1月)
 - (ii) 就職氷河期世代の活用(1回実施:2月)
 - (iii) **副業人材の活用**(2回実施:8月、10月)
 - (iv) **スポットワーク人材の活用**(1回実施:7月)
 - (v) 新卒採用の就活動向とインターンシップの活用(1回実施:6月)
 - オ **個別コンサルティング**(5回実施:7月、8月、10月、11月、1月)

目標

200社 200人の参加